

2023年度OITDAセミナー

「産業の高度化・微細化に 貢献する光・レーザ技術」



一般財団法人光産業技術振興協会では、2023年度「OITDAセミナー」を5月に東京ビッグサイトで開催されるインターオプトにおいて、下記要領で実施します。

2023年

日時

5/31 (水) 10:25~15:20

会場

**東京ビッグサイト 会議棟 1階
102会議室**

<プログラム>

10:25~10:30 主催者挨拶

(敬称略)
一般財団法人光産業技術振興協会

10:30~11:10 レーザ微細加工におけるTACMIコンソーシアムの取り組み

東京大学 小林 洋平

11:10~11:50 プリント基板 レーザ加工の現状と未来

三菱電機株式会社 金田 充弘

11:50~12:30 スマートグラス開発の現状と今後の展開

セイコーエプソン株式会社 高木 将行

14:00~14:40 マイクロ・ナノフォトニクスの可能性を探る 欧州のエコシステム

(同時通訳予定) EPIC(EU) カルロス・リー

14:40~15:20 AR/VR・自動車産業におけるイメージングとセンシングのトレンド

(同時通訳予定) OPTICA(USA) ホセ・ポソ

聴講料：一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員会社、教育機関、公的機関、報道関係者：無料

一般参加者：¥5,000（消費税・資料代¥1,000含む）

参加申込：右記HPよりお申込みください。 https://form.oitda.or.jp/no9_1

2023年度OITDAセミナー 「産業の高度化・微細化に貢献する光・レーザー技術」

(敬称略)

5月31日(水)		会場:東京ビッグサイト 会議棟 102 会議室
10:25~10:30	『主催者挨拶』	一般財団法人光産業技術振興協会 副理事長 兼 専務理事 小谷 泰久
10:30~11:10	『レーザー微細加工における TACMI コンソーシアムの取り組み』	 <p>東京大学 物性研究所附属極限コヒーレント光科学研究センター教授 小林 洋平</p> <p>近年レーザー加工の市場は 2 兆円規模となっている。これまでの機械加工からのレーザー加工への置き換えだけでなく、レーザーだからできる加工もある。例えば難加工性材料の CFRP や、脆性材料であるガラスなどが好例となっている。レーザー加工の中でも微細加工の伸びがおおきい。特に半導体後工程の基板穴あけなどはレーザー加工の独断場であり、今後も重要な技術となる。人口減少先進国である日本が取り組むべきスマートものづくりとレーザー加工との関係についても解説する。</p>
11:10~11:50	『プリント基板 レーザ加工の現状と未来』	 <p>三菱電機株式会社 産業メカトロニクス製作所 レーザ製造部 マイクロ加工機設計課 課長 金田 充弘</p> <p>電子機器の小型化・高性能化・低消費電力化に伴い、マイクロ加工の需要は増加しており、高速に微細加工ができるレーザー加工装置へのニーズが高まっている。本発表では、当社レーザー加工装置での微細加工技術について紹介する。また、より微細加工可能な新たなレーザー加工装置の開発として、当社、大阪大学、スペクトロニクス社は NEDO 国プロ「高輝度・高効率次世代レーザー技術開発」に参画し、高出力深紫外ピコ秒レーザー加工システムを要素開発した。システムと加工事例について紹介する。</p>
11:50~12:30	『スマートグラス開発の現状と今後の展開』	 <p>セイコーエプソン株式会社 VSM プロジェクト シニアスタッフ 高木 将行</p> <p>近年注目を集めるスマートグラスは、ハンズフリーで実視野に色々な情報を重ねて表示できることから、主に遠隔支援や作業支援などの産業分野での応用が広がつつある。一方で、期待されている Mixed Reality への応用や個人向けの利用などに向けては、ハードウェアとして解決しなければならない課題が残されている。本講演では、自社製品 MOVERIO の製品とそれを使った応用例を紹介するとともに、技術開発における課題と今後の展開について述べる。</p>
14:00~14:40	『マイクロ・ナノフォトニクスの可能性を探る 欧州のエコシステム』	 <p>EPIC Director General カルロス・リー</p> <p>ナノ・マイクロ光学は、ヨーロッパの産業界で急速に成長し、活気に満ちた分野です。この最先端技術は、医療用画像から通信ソリューションに至るまで、さまざまな応用の可能性を秘めている。本講演では、急速に進展するこの分野の市場、アプリケーション、機会に焦点を当て、ヨーロッパのマイクロ・ナノフォトニクスのエコシステムの可能性を探る。ヨーロッパのマイクロ・ナノフォトニクス産業の現状を検証し、この新しい産業がもたらす課題と機会についても解説する。</p>
14:40~15:20	『AR/VR・自動車産業におけるイメージングとセンシングのトレンド』	 <p>OPTICA CTO ホセ・ポゾ</p> <p>グローバルなフォトニクス産業ネットワークの必要性に関して、3D イメージングとセンシング、統合フォトニクス、自動車、AR / VR において、現在のフォトニクストレンドの例とともに今後 10 年間で期待されるビジョンを解説する。</p>

※都合により講師・プログラムの内容が変更になる場合があります。